

様式 1

【社会科・中2 歴史的分野・「開国と幕府の終わり」】

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 欧米諸国のアジア進出に対する清の動きと、日本の開国と貿易の拡大による政治的・経済的・社会的な影響を理解するとともに、諸資料から様々な情報を読み取り、まとめることができる。
- (思考力、判断力、表現力) 工業化の進展とそれに伴う政治や社会の変化に着目し、欧米諸国の東アジアへの進出が日本の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に表現することができる。
- (学びに向かう力、人間性等) 欧米諸国における近代化の進展と東アジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

ICT活用のポイント

資料提示、意見集約の時間短縮と共有、話合いの深化

つかむ

黒船来港の背景を理解し、
本時のめあてをつかむ

追究する

日米和親条約、日米修好通商条約
が結ばれた意味について考える

外国との貿易が日本に与えた影響に
ついて、様々な人の立場から考える

まとめる

本時のめあてに対するまとめを
確認し、学習内容を振り返る

事例の概要

- 資料を画面共有ソフトで各自に送り、拡大してみることができる
本時のめあて：外国との貿易が日本にどのような影響を与えたのか
様々な人の立場から考えよう

【事例におけるICT活用の場面①】

- ホワイトボード機能を使用し、外国との貿易が与えた影響について、
武士・庶民・商人の立場から考え、付箋に自分の意見を書く。それぞれの
立場の色を指定し立場が分かるように指示しておく。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 集約された意見をもとに、それぞれの立場から外国との貿易が与えた
影響について話し合う。

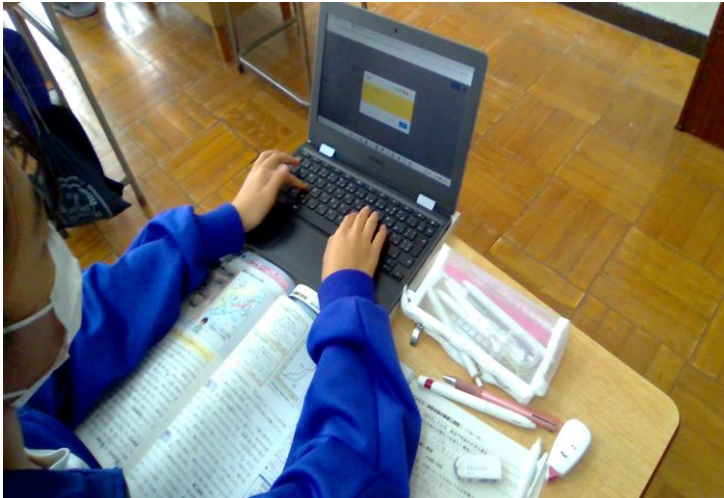
【事例におけるICT活用の場面③】

- まとめをワークシートに記述、画面共有ソフトで全体共有する。

【社会科・中2 歴史的分野・「開国と幕府の終わり」】



アメリカが日本に来航した背景を理解できるように、導入の場面でペリーの来航の資料(ペリーや黒船の絵等)を提示した。生徒各自のタブレットに画面共有システムで送信した。1人1人が見ることができ、拡大するなどして細かいところまで見ることができる。同時に、教師はモニターにも提示することで全体での確認や共有に有効である。



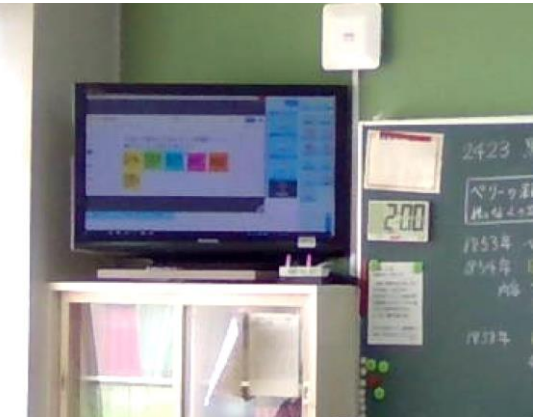
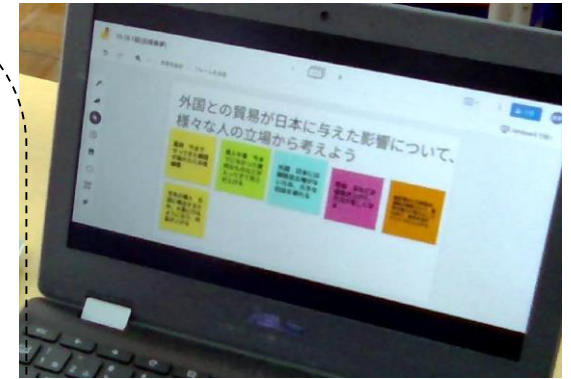
【事例におけるICT活用の場面①②】

外国との貿易が日本に与えた影響について考える場面でホワイトボード機能を活用した。「庶民」「商人」「武士」の3人の立場から影響を考え数人で同時に、立場ごとに付箋の色を変えて記述した。効率的に共有することができ、同じグループの生徒の考えを参考にしながら考えることができるという点でメリットがあった。

3人の立場から考えることで多面的・多角的に外国の貿易が与えた影響について考えることができた。付箋を動かすことができることを利用して整理しやすくなっていた。

考えを持つ、友だちの考えを参考に、もう一度考えることで、違う立場の考えに触れて多面的・多角的に考える上で有効であった。

教師は、グループごとの話し合いについてモニターに写しながら全体での共有をすることができるというメリットがある。



【事例におけるICT活用の場面③】

本時のめあてに対するまとめをワークシートにまとめ、学習の振り返りを行った。ホワイトボードにまとめられた考えを参考にしながらまとめることができた。教師は画面共有ソフトで生徒のまとめを紹介し全体共有することができるという点で有効であった。